

「Death フェス 2026」に出展！

富安社長×映画監督 宮武由衣氏によるトーク&上映会開催 原作者と監督が語る実話ドラマ『最期の、ありがとう。』制作秘話 ～渋谷ヒカリエで新たな「ありがとう」の形を提案～

名古屋市内を中心に、北海道、関東、中部、関西エリアで葬祭事業とフランチャイズ事業を展開する株式会社ティア（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：富安徳久）は、2025年4月11日（土）から16日（木）まで渋谷ヒカリエ 8Fにて開催される「Death フェス 2026」に出展いたします。初日の4月11日（土）13時30分から15時まで、実話を基にしたショートドラマ『最期の、ありがとう。』のトーク&上映会を開催いたします。原作者であり当社代表取締役社長の富安徳久と、映画監督の宮武由衣氏が登壇いたします。

■ 注目の体験型イベント「デスフェス」に出展

「Death フェス」は「死について、もっと自由に話せる社会へ」をテーマに掲げる体験型イベントで、昨年は4,200人が来場しました。30代～50代を中心に、10代・20代も全体の4分の1を占めるなど幅広い世代から関心を集めています。葬儀や終活にとどまらず、ウェルビーイングや宗教、テクノロジーなど多角的な視点から「死」を見つめ直す場として注目されており、当社も昨年に引き続き出展いたします。

■ 実在の人物を描いたドラマの制作秘話と豪華キャストエピソードを語る

今回のトーク&上映会では、当社が制作協力したショートドラマ『最期の、ありがとう。』の制作秘話を、原作者である富安社長自らが語ります。実在の人物を描いた同作品では、富安社長役を永田崇人が演じ、リアルな演出と温かなエピソードで注目を集めています。

イベントでは、作品の魅力や豪華キャストとの撮影エピソードに加え、実在の人物を映像化する際の苦労や思いについて語り合うほか、YouTubeの横型版とTikTokの縦型版、それぞれの魅力についても深く掘り下げます。さらに、お二人が作品を通して伝えたかった思いや、これからの時代に必要な「ありがとう」の伝え方についても語り合います。

■ 体験型ワークショップで「感謝の気持ち」を形に

当社ブースでは、コーポレートメッセージである「最期の、ありがとう。」にちなんだ体験コーナーを設置いたします。来場者の皆様に、大切な人への感謝の気持ちを改めて見つめ直していただける参加型ワークショップをご用意しております。「ありがとう」で人と社会を豊かにしたいという当社の想いを、実際に体感していただける内容となっています。

■ 開催概要

イベント名：Death フェス 2026

会 期：2026年4月11日（土）～16日（木）

時 間：11:00～20:00（最終日は17:00まで）

会 場：渋谷ヒカリエ 8F（CUBE 2、CUBE 3）

<トーク&上映会>

4月11日（土）13:30～15:00

登壇者：富安徳久（株式会社ティア 代表取締役社長・『最期の、ありがとう。』原作者）

宮武由衣氏（映画監督）

■ 株式会社ティアについて

株式会社ティア（東証スタンダード・名証プレミア上場、証券コード：2485）は、1997年に名古屋市で創業し、「日本で一番『ありがとう』と言われる葬儀社」をスローガンに掲げる葬祭企業です。「葬儀価格の完全開示」と「適正な葬儀費用」を一貫して提唱し、従来の業界の常識にとらわれない透明性の高いサービスを提供しています。北海道・中部・関東・関西エリアに直営・フランチャイズで葬儀会館「ティア」を展開し、家族葬から一般葬まで多様なニーズに対応しています。

<本リリースに関するお問い合わせ>

株式会社ティア ESG 事業部 担当/加藤、山田、野村

TEL.052-918-8272（直通）Email. tear-mc@web-tear.com

<株式会社ティア 会社概要>

本 社 : 愛知県名古屋市北区黒川本通 3 丁目 33 番地 1
代 表 者 : 代表取締役社長 富安 徳久
設 立 : 1997 年 7 月
資 本 金 : 18 億 9,500 万円 (2025 年 9 月末現在)
上 場 市 場 : 東京証券取引所 スタンダード、名古屋証券取引所 プレミア市場
従 業 員 数 : 971 人 (2025 年 9 月末現在)
事 業 内 容 : 葬儀施行全般や各種法要の請負
葬儀施行後の遺族の相談内容に応じたアフターフォロー
北海道、中部、関東、関西に直営、FC で葬儀会館を運営
フランチャイズによる葬儀ビジネス参入提案とノウハウ提供
会 館 数 : 223 会館 (2026 年 4 月現在)
コーポレートサイト : <https://www.tear.co.jp/company/>